

業界初のバックヤードプラットフォーム「BACKYARD™」を開始 バックヤードから生まれる風土文化“らしさ”への共感によるファン創造を支援



株式会社イル（本社:大阪市北区・東京都港区、代表取締役社長:岩本哲夫、証券コード:3854）は、企業やネットショップ、実店舗のバックヤード※1を支援するバックヤードプラットフォーム「BACKYARD™（バックヤード）」を開始しました。

業務の効率化だけではなく、バックヤードによる風土文化や価値観である“らしさ”の創造、そしてこの“らしさ”に共感するファンの創造を支援することで、バックサイドから変革につなげる BX※2を実現する、業界初のバックヤードプラットフォームです。プラットフォームのコンテンツである CLOUD SERVICE、EVENT、AWARD、MEDIA、REAL SPACE、TOOLで複合的にバックヤードを支援します。

「BACKYARD™」

BRAND SITE URL: <https://backyard.site>

※1 バックヤードとは

企業やネットショップ、実店舗のバックサイドで、受注処理、発注処理、問合せ対応、出荷作業、入荷作業、商品登録、在庫管理などを行っている人やチーム、場所のこと。

※2 BXとは

イルが提唱するバックサイドトランスフォーメーション。効率化の先にある、バックヤードやバックオフィスといったバックサイドから風土文化など価値創造を生み出すことで、裏側だけでなく表側にも変革を起こすこと。

■「BACKYARD™」を開始した背景

世の中では今、効率・自動化が加速し、イノベーションが次々と起こる一方で、人は企業・ショップの風土文化や価値観である“らしさ”に共感し、長く強いつながりを持つことを求めています。

わたしたちは企業・ショップのバックヤードの現場の光景から、“らしさ”とは、商品や目に見えるものだけではないということを学んできました。顔が見えない相手でも、声だけで気持ちを伝えることができたり、包み方ひとつで想いを届けられたり、無理な問い合わせでも諦めずに相手に寄り添い、マニュアルではなく心で向き合うことで笑ってもらえたりする。それは効率化や売上のためではなく、バックヤードのありのままの LOVE から生まれていました。そんな、バックヤードの LOVE は、効率化やイノベーションのように目には見えませんが、1つ1つ、1日1日とゆっくりと積み重なっていくことで、世の中へ“らしさ”として伝わり、顧客はその“らしさ”への共感からファンとなり、深いつながりが生まれます。すべての企業・ショップの“らしさ”はバックヤードの LOVE から生まれる「LOVE by BACKYARD」をミッションに、これまで1つ1つの取り組みとして進めてきた活動をつなげ、つながりをもった動きにしていくため、バックヤードプラットフォーム「BACKYARD™」を立ち上げました。

LOVE by BACKYARD.

■ バックヤードプラットフォームについて

CLOUD SERVICE、EVENT、AWARD、MEDIA、REAL SPACE、TOOL で複合的にバックヤードを支援します。

【 CLOUD SERVICE 】

クラウド業務管理サービス

業界初、バックヤード業務のボーダレスな一元管理を実現するクラウドサービスです。BACKYARD™のサービスプラットフォーム上には、CROSS/ 連携管理、ORDER/ 注文管理、ITEM/ 商品管理、STOCK/ 在庫管理、COMMUNICATION/ 接客管理、の各サービスと機能で構成されています。

現在、そして今後の市場は、業種業態（ネット通販 / メーカー / 卸 / 小売）やビジネス（B）とコンシューマー（C）、WEB と REAL、国内と海外、メールやチャットツール・SNS など、ボーダレス化と複数チャネル化が加速しています。この流れに伴い、バックヤードにおける業務管理では、システムの分散化や継ぎはぎの改修、CSV など人力によるデータ連携の増加と、より業務が複雑化していくことが予測されます。

BACKYARD™のクラウド業務管理サービスは、このボーダレス化と複数チャネル化に対応する機能、自動処理による効率化とデータ融合で、ネットショップの一元管理範囲だけではなく、業務全体の一元管理をクラウドで実現するサービスです。そして、効率化だけではなく、接客管理によるバックヤードと顧客、バックヤードチーム内のコミュニケーションを促進し、バックヤードの対応から風土文化や価値観である“らしさ”が生まれ、その“らしさ”に共感するファンの創造を支援します。

CROSS

/ 連携管理

CROSS/連携管理サービスは、業務データのAPI連携により、複数のショップ運営や複数の業態、コンシューマーやビジネス、国内や越境など複数の対象への販売、複数拠点による出荷、複数の業務システムなど、ボーダレスな業務データの一元管理を可能にします。

ORDER

/ 注文管理

ORDER/注文管理サービスは、複数ネットショップの受注データ一元管理、入金確認から出荷、売上までの自動処理によるステータス管理が可能です。小売業態の売上管理、卸業態の見積・請求・支払など取引先管理、全業態の発注管理までの一元管理を可能にします。

ITEM

/ 商品管理

ITEM/商品管理サービスは、アイテムの色やサイズなどのバリエーションをSKU単位で管理し、ネットショップ商品の複製、モール/カートへの出品と商品ページ反映、実店舗商品の複製とPOSへの反映、取引先別商品単価の設定など全業態の商品の一元管理を可能にします。

STOCK

/ 在庫管理

STOCK/在庫管理サービスは、実在庫数や受注残数を含めた販売可能在庫数の把握、セット品構成の在庫登録、売上や仕入、出入庫や移動、棚卸処理による在庫変動管理、複数拠点での在庫数や複数ネットショップ・複数実店舗の在庫数を自動連携することで一元管理を可能にします。

COMMUNICATION

/ 接客管理

購入だけではなく購入履歴まで一元管理することで、リピーターやファンの特定が可能です。メールやネットショップ、SNSなど複数のチャネルからの問合せもステータスで一元管理することで対応漏れを防ぎ、お客様の声や対応を共有することでバックヤードからのファン創造を支援します。

【 EVENT 】

BACKYARD FES.

2015年に業界初のネットショップバックヤード向けのイベントを開催。2016年には東京・表参道で、2018年、2019年には東京・二子玉川でバックヤードが主役のイベント「BACKYARD FES. (バックヤードフェス)」を開催。バックヤードによるマーケットでの販売や体験型ワークショップなど、普段は直接出会うことのないバックヤードと顧客のリアルなコミュニケーションの場を創造しています。

BACKYARD FES. https://cross-mall.jp/backyard_fes_2019/



【 AWARD 】

BACKYARD AWARD

2014年、業界初のバックヤードを表彰する「BACKYARD AWARD(バックヤードアワード)」をスタート。バックヤードの人々やチームの日々の業務や地道な努力、お客様への対応や想い、創意工夫についての表彰と感謝の場を創造しています。



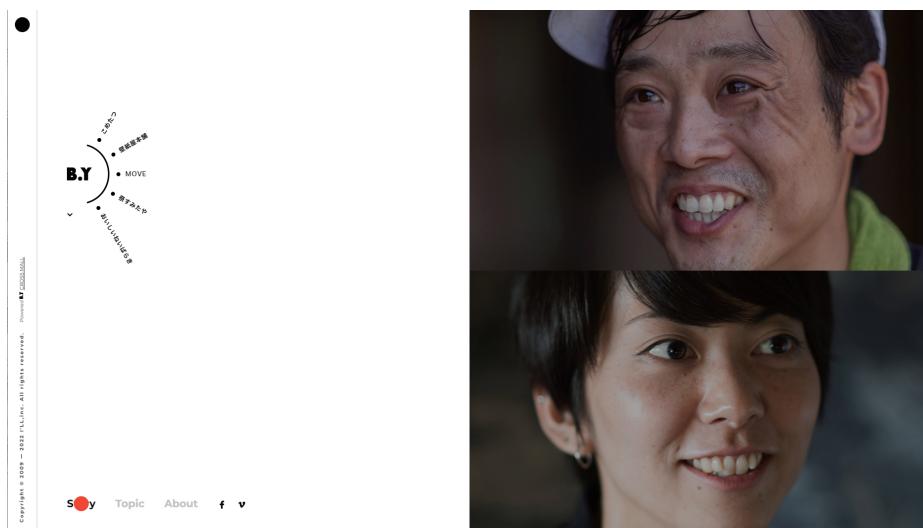
【 MEDIA 】

B.Y

日本初のバックヤード特化型メディア「B.Y（ビーワイ）」を2017年より運営しています。

バックヤードにいる人に焦点を当て、普段目に見えないバックヤードの活動や想い、業務への創意工夫などに光を当て、STORYとTOPICとして伝える取り組みを行っています。バックヤードの方々をよりクリエイティブに支援し、購入者の方々にも便利さだけではなく「人」が行っているサービスであることの気づきにつながればと考えて取り組んでいます。

B.Y <https://crossbackyard.com/>



【 REAL SPACE 】

バックヤード拠点：coming soon

CLOUD SERVICE や TOOL のショールーム、オンラインや電話に次ぐバックヤード運用相談のリアル窓口、バックヤードイベントの開催など、業界初のバックヤード専用リアル拠点を創造していきます。

【 TOOL 】

バックヤードツール：coming soon

オリジナルダンボール棚など、バックヤード運用を支えるツールやサプライを提供していきます。

会社概要

社名：株式会社イル（東証プライム：3854）

代表者：代表取締役社長 岩本哲夫

設立：1991年

資本金：3億54百万円（2022年7月末時点）

社員数：820人＜連結＞（2022年7月末時点）

売上高：129億44百万円＜連結＞（2022年7月期実績）

本社：大阪本社：大阪市北区 / 東京本社：東京都港区

URL：<https://www.ill.co.jp/>

お問い合わせ

サービスに関するお問い合わせ先

株式会社イル サービスお問い合わせ窓口

TEL：0120-829-732 / E-MAIL：webmarketing@ill.co.jp

報道関係者さま向けのお問い合わせ先

株式会社イル 広報担当：吉野（よしの）

TEL：070-7607-2538 / E-MAIL：info@ill.co.jp

